

1. 評価結果概要表

作成日 平成 19 年 10 月 25 日

【評価実施概要】

事業所番号	3870700295		
法人名	新風会 K.K		
事業所名	グループホーム星城		
所在地	大洲市徳森字土肥1790-3 (電話) 0893-25-2425		
管理者	徳生 ナナコ		
評価機関名	愛媛県社会福祉協議会 利用者支援班		
所在地	愛媛県松山市持田町三丁目8-15		
訪問調査日	平成 19 年 9 月 5 日	評価確定日	平成 19 年 10 月 29 日

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

風景の良い高台にある、3階建ての洋風ホームである。開設して4年半が経過し、運営法人内の他ホーム開設のための職員の異動がある。利用者や職員の馴染みの関係が続けられるよう職員は意欲を持って前向きに取り組んでいる。地域とのつながりをもち利用者の生活を充実させるために年間計画を立てて取り組み、少しずつ成果を出している。基本的なケアはしっかり実践しており、医療機関との連携は密に取れているため利用者の不安はない。ユニット毎の個性を大切に利用者の個性に合わせた運営を心がけている。

【質向上への取組状況】

▼ 前回評価での主な改善課題とその後の取組、改善状況 (関連項目: 外部4)
地域とのつながりをより深め、利用者の生活の輪を広げたいと考えており、この取り組みとして全職員で年間目標と計画を立て実践している。ホーム便りを回覧板で回す、行事に参加する、防災組織づくりや訓練の実施等を計画している。また年2回の収穫祭としてバーベキュー等で楽しんでいる。

▼ 今回の自己評価に対する取り組み状況 (関連項目: 外部4)
職員それぞれに項目をチェックし、各ユニットの責任者が各項目について職員それぞれのチェックを確認して記載している。

▼ 運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み (関連項目: 外部4, 5, 6)
ホームとして地域防災組織に組み込まれた。防災訓練は地域の人々の役割も想定して実施している。火災だけでなく地震や水害時の対応、食中毒や感染予防対策についても検討が必要であり、取り組んでいる。

▼ 家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映 (関連項目: 外部7, 8)
意見や不安、苦情等を表しやすいよう、聞く態度をいつも持つように努めている。意見箱を設置し、ホーム内外への相談窓口も明示して説明している。

▼ 日常生活における地域との連携 (関連項目: 外部3)
回覧板を職員と共に回したり、散歩時にあいさつや会話している。地域の行事にも時々状態に合わせて参加している。利用者の生活がより広がるよう、休憩できるスペース、トイレがある、車いすで行ける所等を少しずつ多く見つけて行きたいと考えている。

【情報提供票より】 (平成 19 年 8 月 1 日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	平成 15 年 2 月 27 日		
ユニット数	3 ユニット	利用定員数計	27 人
職員数	22 人	常勤 14 人, 非常勤 6 人, 常勤換算 19.3 人	

(2) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	20,000 円	その他の経費(月額)	6,000 円
敷金	有()円 ○ 無		
保証金の有無 (入居一時金含む)	有()円 ○ 無	有りの場合 償却の有無	
食材料費	朝食	240 円	昼食 380 円
	夕食	380 円	おやつ 円
	または1日当たり 円		

(3) 利用者の概要 (平成 年 8 月 1 日事業所記入)

利用者人数	27 名	男性 3 名	女性 24 名
要介護1	9 名	要介護2	10 名
要介護3	8 名	要介護4	名
要介護5	名	要支援2	名
年齢	平均 84.5 歳	最低 61 歳	最高 94 歳

(4) 他に事業所として指定等を受けている事業及び加算

指定	あり	指定介護予防認知症対応型共同生活介護
指定	なし	指定認知症対応型通所介護
届出	なし	短期利用型共同生活介護
加算	あり	医療連携体制加算

(別表第1の2)

自己評価及び外部評価結果表

サービス評価自己評価項目 (評価項目の構成)

I.理念に基づく運営

1. 理念の共有
2. 地域との支えあい
3. 理念を実践するための制度の理解と活用
4. 理念を実践するための体制
5. 人材の育成と支援

II.安心と信頼に向けた関係づくりと支援

1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援

III.その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント

1. 一人ひとりの把握
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し
3. 多機能性を活かした柔軟な支援
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働

IV.その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

1. その人らしい暮らしの支援
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり

V.サービスの成果に関する項目

ホップ 職員みんなで自己評価!
ステップ 外部評価でブラッシュアップ!!
ジャンプ 評価の公表で取組み内容をPR!!!

—サービス向上への3ステップ—
“愛媛県地域密着型サービス評価”

【記入方法】

- 指定認知症対応型共同生活介護の場合は、共同生活住居(ユニット)ごとに、管理者が介護職員と協議の上記入すること。
 - 各自己評価項目について、「取組みの事実」を記入し、取組みたいに※を付け、適宜その内容を記入すること。
 - 「取組みの事実」は必ず記入すること。
- (注) 自己評価について、誤字脱字等の記載誤り以外、外部評価機関が記載内容等を修正することはありません。

※用語について

- 家族等＝家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含む。
(他に「家族」に限定する項目がある)
- 運営者＝事業所の具体的な経営・運営に関わる決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)。
- 職員＝「職員」には、管理者および非常勤職員を含む。
- チーム＝一人の人の関係者が連携し、共通認識で取り組むという意。
関係者とは管理者・職員はもとより、家族、かかりつけ医、包括支援センターなど、事業所以外で本人を支えている関係者を含む。

事業所名	グループホーム星城
(ユニット名)	1F
記入者(管理者)	
氏名	森本あけみ
評価完了日	平成 19 年 7 月 25 日

(別表第1)

自己評価及び外部評価票

【セル内での改行は「Alt+Enter」です。】

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	(自己評価) ホームとしての運営理念があり、一人ひとりを尊重し、地域の中で暮らしていくことが出来るように支援している。 (外部評価) 運営法人の理念を受け、年間目標を各ユニット毎に検討し作成している。	※	年間目標を掲げ、地域の方々との交流を企画している。収穫祭を年間2回行う。
2	2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	(自己評価) 利用者さんが社会性を失うことなく、生活が続けられるように色々な計画を立て実行している。 (外部評価) 理念、目標は居間に掲げ、いつでも目に入るようにしている。会議や申し送り等で理念の共有をしている。また目標にそって年間計画を立て実践している。	※	定期的な外出や買い物、ご近所への散歩 地域との交流のため、地域行事への参加や見学を行なって行きたい。
3		○家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえよう取り組んでいる	(自己評価) 地域向けの新聞に星城の年間目標を示すとともにホームの取り組みを知っていただくため、地域に回覧している。家族にも一ヶ月に1回ホーム新聞を送っている。	※	ホームから地域の行事に参加し交流するとともに、地域の方々がホームを訪れ行事に参加して下さる働きかけを続け、理解をしていただけるように取り組みたい。

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
2. 地域との支えあい					
4		○隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	(自己評価) 回覧板を回していただいたり、災害時の対応のため防災組織を作っているが、日常的つきあいは深めていく必要がある。	※	ホームにお花を下さる方もいらっしゃるが気軽に立ち寄っていただけるよう、出勤時や利用者さんとの散歩には、気持ちの良い挨拶をし顔なじみの関係を作っていきたい。
5	3	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	(自己評価) 地域の清掃活動に参加や保育園児との交流がある。また、地方祭には御神輿が来て下さる。	※	自治会や地域活動への参加、回覧板を回していただけるようになり、地域の行事等が分り、行事に参加しやすくなってきている。
			(外部評価) 地域とのつながりの必要性は充分理解し取り組んでいるがなかなか結果につなげられない事もあり検討しながら進めている。自治会活動や地域の行事等にも参加し交流に努めている。	※	ホーム便りの回覧板での回覧、清掃活動への参加、保育園児との交流等を実践している。火災時の対応も地域に組み込む事ができており、今後ますます具体的な方法を検討しながら交流の機会を増やすことを期待する。
6		○事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	(自己評価) 認知症に対する知識や介護のノウハウを地域の方々と交流の中で伝えていくことが出来れば良いと思うが実施できていない。		地域の方々の情報を集め、独居老人の方をホームにお招きし、利用者さんたちと交流をしていただきたいと考えています。
3. 理念を实践するための制度の理解と活用					
7	4	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	(自己評価) 職員一人ひとりが自己評価を行い、各フロアで話し合い、外部評価を理解し、フロアの自己評価をし、改善に取り組んでいる。 (外部評価) 評価の意義は各職員が理解しており個々に評価し検討している。具体的な評価で改善につなげるものもある。	※	ホーム、各フロアで話し合うことで、改善点や反省点など沢山の気づきがあり、良い意識付けになっている。 案内板の設置に取り組むたい。

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
8	5	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	(自己評価) 評価結果を報告し、改善点について地域の方や市職員の方に助言、協力をいただき、サービスの向上に活かしている。 (外部評価) ホームの運営報告や会議での提案の実施状態を伝えて理解を求めている。地域の協力を得て防災組織をつくる、案内板の設置、地域の人々のホームへの訪問等を具体的に検討している。	※	防災時の連絡、防災組織を作りご近所の方々に協力をお願いしている。 案内板の設置に関し、市の建設課や警察署などと情報交換が必要なことを助言して下さった
9	6	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	(自己評価) 市のサービス担当者会議に参加し、サービスの質の向上に役立てている。 利用状況や事故報告書もしている。 (外部評価) サービス担当者会議に出席したり、市担当者と報告・連絡・指導を受けるなどしながら取り組んでいる。	※	必要時には高齢福祉課の職員から助言をいただき、サービスの向上に役立てることが出来ている。 連携を大切にしているが、より成果をあげるためにもホームの特徴を理解してもらい、行事や委員会等の出席や参加の機会を持ち具体的な意見交換ができることを期待する。
10		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	(自己評価) 学習会に参加し、知識を深めているが職員全員が制度について理解できていないため学習会を持ちたい。	※	現在フロアには必要とされている方はいらっしゃらないが、今後のためにも学習会を持ち、職員全員が制度を理解し、必要と考えられる方を支援していきたい。
11		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	(自己評価) 職員全体で虐待の防止に努めるとともに高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持っていきたい。	※	職員はストレスをためないように定期的に利用者さんの様子について話し合い、対応の困難な方に配慮し、援助ができるように情報交換を行い、体調に気をつけ、虐待を見逃すことが無いように対応している。

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 理念を実践するための体制					
12		○契約に関する説明と納得 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	(自己評価) 家族とホームの考え方を互いに理解し、十分な説明を行い、書面にて同意契約を行なっている。	※	必要な事に対し、家族の同意をお願いし、理解納得をしていただけるように対応している。
13		○運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	(自己評価) 生活の中から意見や不安を職員は聞き取り改善している。また、介護相談員さんの来所が定期的であり、職員以外の相談者がある。	※	利用者代表の方が運営推進会議に参加し、外部者と話す機会がある。また、介護相談員さんとお話を自由に不満を話される事もある。情報は職員も共有し、運営に反映している。
14	7	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々に合わせた報告をしている	(自己評価) フロア新聞にて一ヶ月に1回利用者さんの暮らしぶりや職員の異動等についてお知らせをしている。健康状態、金銭については、お電話でお知らせしたり、家族の訪問時に様子を伝えている。 (外部評価) 各ユニット毎の新聞で利用者の生活状況、健康状態、金銭管理や職員の異動を含む情報等を詳細に伝えている。また面会時や電話でも細かく情報交換している。家族の生活に応じて具体的な希望に添っている。	※	新聞の発行、定期的な家族と利用者さんの電話でのお話、健康状態、金銭管理等それぞれの家族さんに合わせ報告している。
15	8	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	(自己評価) 苦情受付先を表し家族等の意見の反映を運営に活かしている。 (外部評価) 意見や苦情をホーム内外に表わせる具体的な方法を説明したり表示したりしている。また意見箱を設置している。面会時の家族との情報交換にも配慮している。	※ ※	苦情の受付先を示すとともに、苦情受付箱を置き、自由に投函していただき、運営に参加できるようにしている。 家族との話し合いは持っているが、家族主体の会議は運営されていない。家族会の設置や家族の意見を引き出す方法を検討し、課題を経過も含めて家族にも伝えることを期待する。

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
16		○運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	(自己評価) 定期的にホーム長会議が行なわれており、話の内容は、業務カンファレンスにて職員に報告、ホーム長会にホームのからの意見を提案している。		揚げ物油の回収について報告し、エコロジー活動に協力することは大切だと了解をもらった。
17		○柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている	(自己評価) 緊急時の連絡対応あり。 行事企画においては、時間外出勤者を確保し、安全に対応し、業務への負担を少なくできるように、話し合い調整している。		必要時に時間外出勤者を確保し、柔軟な対応を取れるよう今後も続けていきたい。
18	9	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	(自己評価) 馴染みの職員異動でフロア内は不安等を抱える事があるが、職員間での引継ぎを十分に行い、ダメージを少なくできるようにしている。	※	離職や異動後も馴染みの関係を持ち、利用者さんに不安をかけないように訪問し、少しずつ距離を取っている。ホーム内の異動では、協力し合って対応している。
			(外部評価) 運営法人が業務拡張して法人内での異動が多いため、できるだけ職員間の引継ぎを確実にするよう努めている。3ユニットの職員が行事等でできるだけ情報交換し、顔なじみになれるよう工夫している。	※	利用者それぞれに一貫した対応ができるよう、適切に情報を共有することを期待する。
5. 人材の育成と支援					
19	10	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	(自己評価) 実務者研修や管理者研修等の参加を計画的にされている。GH協議会の主催する研修会等、機会あるごとに職員を参加させている。	※	今後も機会あるごとに、色々な研修に参加し、学習意欲を高め、サービスの向上に役立っていきたい。 月1回自主的に職員主催の勉強会を行なっている。
			(外部評価) 採用、異動等は職員の背景によって対応している。月1回ユニットでの勉強会は実状に沿ったものを計画し参加している。外部研修への参加は経験に応じたものを受講している。また報告や書類提出もしている。	※	計画的な教育のために、年間計画や経験に応じた研修への参加、参加後の報告等もより充実することを期待する。利用者のケアに関する技術の訓練実施も検討することを期待する。

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
20	11	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	(自己評価) 南予地区グループホーム協議会での会に参加 大洲市のサービス担当者にてグループホーム間の情報交換、運営推進会議での交流 社内のグループホーム間での交流が出来ている。	※	市内のグループホーム間での交流を充実し、サービス向上に向け、職員間でのネットワーク作りや勉強会、情報交換ができるようにしていきたい。
			(外部評価) 運営法人内の他ホームとは情報交換等で交流できているが、法人外はまだ進んでいない。南予地区グループホーム協議会では少しずつ交流しているが、相互訪問や勉強会開催等は実施してない。	※	勉強会、情報交換会、相互訪問等で交流促進のきっかけとなる働きかけを期待する。運営推進委員会等でも検討することを期待する。
21		○職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる	(自己評価) 利用者さんと一緒に休み時間を過ごしていることが多いため、休憩時間やくつろぎの場を確保できるようにしていきたい。	※	ゆっくりと休める場所と時間への工夫が大切だと思う。 良い環境を作り、ストレス軽減ができるようにしたいと思っている。
22		○向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている	(自己評価) 管理者、ホーム長、計画作成担当者などの役職あり、介護福祉士の資格を取ることで手当もつく。	※	職員は各種の研修に積極的に参加、資格試験にチャレンジし各自が向上心を持ち働くことを運営者は強く望まれている。
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
23		○初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	(自己評価) 入居前から本人と面接し、状況を知るとともにホームのことも知っていただき、少しでも早く顔なじみになり安心していただけるよう対応している。	※	事前調査に担当者もしくはケアプラン計画作成者が同行、あるいは家族さん、利用希望者さんのホームの見学時にゆっくりとお話を聞くようにしている。
24		○初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	(自己評価) ホームの見学、あるいは自宅訪問時に家族とお話し信頼いただけるよう対応するとともにケアマネジャーさんからの情報を大切にしている。	※	ケアマネジャーさんや紹介者からの情報を大切に、家族さんの困っている事を理解し、少しでも不安を取り除けるようコミュニケーションを取るようにしている。

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
25		○初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	(自己評価) デイサービスなどは利用していないが、ホーム内にてリハビリを行ったり、必要時の受診援助を行なっている。	※	今後は、本人は家族さんの希望に対し対応できるように努めたいと思う。
26	12	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気に徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	(自己評価) 馴染みながらのサービス利用は現在の利用者さんにおいては、無かったと思われるが家族さんの協力をいただきながら、良い関係作りをし、安心していただけるようにしたい。 (外部評価) 事前に見学してもらったり、ホームから訪問したりして情報収集し、徐々に馴染めるよう家族とも協力している。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
27	13	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	(自己評価) 日常生活の中から利用者さんの持っている力を引き出し、お手伝いしていただけるよう声かけ、感謝の声かけをしている。また、不安を取り除くように話し相手になっている。 (外部評価) 利用者の生活歴を大切に、得意なことなどを知り、職員が教えてもらう場面をつくっている。職員は一緒に過ごし支えあうことを大切にしたいと考えている。	※	職員は利用者さんと一緒に作業をすることで、感謝を忘れない、自信を取り戻していただけるよう尊敬を持って対応できるようにしている。
28		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	(自己評価) 定期的に家族に電話をしている。家族の面会時には最近の様子をお話し、必要時にはお電話にて状況を伝え相談している。	※	年月が長くなると家族さんの訪問も少なくなって利用者さんと触れ合うことが少なくなるため、行事等へお誘いし、ホームを訪ね易くする工夫をしていきたい。

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
29		○本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	(自己評価) 必要と思われる利用者さんには、定期的な外泊をお願いをしたり、お電話での家族さんとのコミュニケーションを大切に支援している。	※	行事への参加等、家族さんが利用者さんと触れ合う機会を作っていきたい。
30		○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	(自己評価) 外出先にて知人に会った場合には、お話ができるように支援している。 食材を配達してくださる方との馴染みの関係が出来ている。	※	本人が会いたいと思っている方・場所にホームから連れて行ってあげられるような支援をして行きたい。
31		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	(自己評価) 気の合う利用者さん間でお部屋を行ききしたり、話をしたりしているが、レベルの違いからトラブルになることがあるため、注意して支援している。	※	必要とされる利用者、家族さんとは、定期的に情報いただき、安心して生活できるように支援して行きたい。
32		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用（契約）が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	(自己評価) 病院に入院時には情報を共有し、利用者さんが退所後も安心して生活を続けられよう助言を行なっている。		必要とされる利用者、家族さんとは、定期的に情報をいただき、安心して生活ができるよう支援して行きたい。
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
33	14	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	(自己評価) 本人の希望を開き、ケアプランに入れている。 困難な場合には、家族の意向も含め職員間で話し合い、本人が何を望まれているのか話し合い把握している。 (外部評価) 本人や家族の思いをケアプランに取り入れている。本人の意思が分からないときも本人本位で検討している。	※	常に利用者さんの立場に立って、援助できるよう職員間で話し合い、利用者さんとコミュニケーションを取り、何を必要とされているか検討している。

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
34		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	(自己評価) 担当者は家族さんからの情報をいただき、職員間でも情報を共有するようにしている。		コミュニケーションを深め、情報の収集・把握に努めている。
35		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	(自己評価) ケアカンファレンス時に情報共有し、現状把握するとともに日々の生活の中で変化に気を付けて対応している。		職員間での情報共有と気づきを大切にできるように職員の育成をして行きたい。
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
36	15	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	(自己評価) 本人・家族の希望を聞き、ケアカンファレンスにて、話し合い、介護計画の作成に役立っている。 (外部評価) 月1回カンファレンスを行い、本人や家族の希望を介護計画に入れている。担当職員をはじめ全職員の意見を参考にして検討し作成している。	※	もっと本人の意向を入れていく必要があると考えている。
37	16	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	(自己評価) 家族や本人と十分に話し合い、介護計画を作成し、必要と思われる時には家族の同意を得て変更をしている。 (外部評価) 定期的には3～6か月ごとの見直しとなっているが、毎月カンファレンスで検討し、状況が変わった時は随時見直している。	※	毎月、見直しは行なっているが、家族や本人の意見も聞く場を持ち、介護計画に反映できるようにして行きたい。

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
38		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	(自己評価) ケアの結果・気づき、工夫などの記入が不十分であるが、少しずつ書いているので情報を共有する大切な記録である。		行動異常や気づきなど情報を共有できる大切な記録にし、利用者さんの生活が見える生き生きとした個別の記録とし見直しに活かして活かしたい。
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
39	17	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	(自己評価) 医療連携体制が取られており、定期的に医師の往診が受けられるようになり、利用者さんや職員の負担が軽減されている。 (外部評価) 定期的な医師の往診を受けている。医療機関への受診は家族の協力を得ながら対応している。電話の取り次ぎ、買い物や理美容にも応じている。	※ ※	馴染みの医師との関係が保たれており、相談しやすい。 利用前の付き合いや墓参り、行事、仏事等にも必要に応じて支援することを期待する。
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
40		○地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	(自己評価) ボランティアの受け入れあり、利用者さんの生活に潤いをあたえている。	※	ボランティアの方の受け入れ、保育園児の訪問や消防署の定期的な指導を受け、防災に気をつけている。
41		○他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	(自己評価) 本人の意向で理美容サービスの利用を支援している。	※	ホームの空き情報を他施設のケアマネジャーさんと共有している。 カタヤマ理容店の出張サービス、グドライブさんの出張サービスの利用
42		○地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	(自己評価) 必要に応じ、権利擁護制度の利用を進めるが、現在のところ、地域包括支援センターとの協働は無い。		地域包括支援部があり、必要に応じ相談をすることができる。

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
43	18	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	(自己評価) 本人や家族の希望する病院を受診していただくことができる。 (外部評価) 協力医の往診、受診はスムーズにできており、活用している。また協力医療機関の看護師との連携は取れている。	※	家族の意向により、協力医療機関以外の病院に行くことができる。 必要時は受診援助もしている。
44		○認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	(自己評価) 専門医も協力機関にあげられているため、主治医と相談しながら家族の希望や考えを理解し、受診することができる		対応困難事例が起きた場合、早目に医師の指示を受け、専門医にかかることがある。
45		○看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	(自己評価) 神南診療所の看護師が毎朝、体調の変化は無いか電話にて確認する。		職員の観察力を高め、利用者さんの変化等を早く察知し、看護師に報告できるようにしていきたい。
46		○早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	(自己評価) ホーム内での生活の様子を伝え、少しでも安心して治療が受けられるように看護師と情報を共有している。		サマリー、情報提供、入院中の経過確認を行なっている。
47	19	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	(自己評価) ターミナルケアの方針あり 看取りまで望まれている家族さんもいらっしゃる。 (外部評価) ターミナル状態になっても希望があれば対応可能である。2名の看取りを経験しているが、時々話し合いや職員の教育が必要であると考えている。	※	同意や契約を取って、看取りに取り組んでいるが、現在のところ、終末期の方はいらっしゃらない。
				※	経験を大切にして学んでいくことを期待する。また職員の教育研修を重ね、医療との連携を具体的に検討することを期待する。

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
48		○重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている	(自己評価) 現在は終末期の方はいらっしゃらないが、重度化した場合は、家族の意向を大切にホーム内でできることを示し対応したい。	※	医療連携体制あり 職員の看取りに対する教育・勉強会を行い、チームケアが出来るよう支援して行きたい。
49		○住み替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている	(自己評価) 情報の提供によりダメージの防止につなげている。		サマリー、情報提供を行なっている。
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1) 一人ひとりの尊重					
50	20	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	(自己評価) 尊敬、尊重を持って対応しプライバシーを損ねないようにしている。 秘密厳守 (外部評価) 利用者を尊重し、言葉も態度もきちんと接している。 記録類も個人情報として適切に取り扱っている。	※	職員は情報をケア以外で利用してはいけないこと、守秘義務があることを理解している。
51		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている	(自己評価) 出来ることをそれぞれの力に合わせ、お願いしてやる気を引き出すようにしているが、無理にせず本人に決めてもらい、お手伝いなど一緒に行なっている。	※	本人が分るように声かけの仕方を変えたりしながら、働きかけや説明を行なっている。

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
52	21	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	(自己評価) 利用者さんそれぞれのペースに合わせ、対応するようにしているが、職員の都合で優先することがあるので、気をつけて支援して行きたい。 (外部評価) 利用者個々のペースと希望を大切にし、職員の都合を優先しない支援が行われている。	※	その日1日をどのように過ごしたいか希望に沿って支援して行きたい。
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
53		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている	(自己評価) 服を選ぶことの出来る人は自分で選び更衣をされている。 パーマ等、希望に合わせて出張サービスを利用している。		利用者さんに対し、ゆとりを持ち、本人の服を選んでいただけるよう支援して行きたい。(認知度の高い方に対して) 行きつけのお店でのおしゃれも大切であると思う。
54	22	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	(自己評価) 下ごしらえなどそれぞれの力に合ったことをお願いし、皆で準備や食事を楽しんでいる。下膳は本人にお願いし後片付けも一緒にしている。 (外部評価) 食事の準備や片付けを一緒にしており、食事の形態は個々に対応している。メニューの希望を聞くこともある。テーブルが少々狭いため職員は別のスペースを利用しているが、個々の援助はできている。	※	評判の良い献立を取り入れ、皆で食事を楽しんでいる。それぞれが出来ることを協力しながら、食事を楽しむことができるように支援している。
55		○本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	(自己評価) 本人の量に合ったビールを購入し、他の方に違和感を与えないように飲んでもらっている。おやつは、本人の好みを知り、一緒に選び楽しめるようにしている。	※	本人の希望に沿って嗜好品を口にすることができるよう支援している。

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
56		○気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	(自己評価) 介助の必要な方の排泄パターンを理解し、トイレで排泄が出来ように、1日を通して援助している。	※	一人ひとりに合った方法で対応している。
57	23	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	(自己評価) それぞれの希望される時に入浴することはできないが、入浴を楽しめるように支援している。 (外部評価) 順番等できるだけ希望に添えるよう努めている。入浴はできるだけゆっくと楽しめるようにしている。また一緒に入浴する方法もあり、個々に対応している。使用後の浴室の掃除や換気にも気をつけている。	※	利用者さんの希望に対応できるような入浴支援ができるように、曜日や時間帯にとらわれないようにしていきたい。
58		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	(自己評価) その日の体調を理解し、休息が必要と思われる方には、ゆっくと自室にて休息ができるように対応している。		夜間の就寝時間も自由に消灯時間にこだわらず、自由に過しておられる。
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
59	24	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	(自己評価) 一人ひとりに合った出来る事を理解し、お手伝いをお願いし、自信が持てるよう声かけ、支援している。 (外部評価) ちぎり絵、習字、詩吟、俳句、塗り絵、新聞読み、テレビ観賞、散歩、園芸、買物、食事準備・片付け、洗濯、たたみ等、利用者の得意なことや好きなことができるよう支援している。	※	職歴を理解し、草引き、習字など利用者さんが無理なく出来る事を楽しく続けられるよう支援している。

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
60		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	(自己評価) 現在は自分で管理していらっしゃる方はいらっしゃらないが、必要時にはお預かりしているお金があることを伝え、安心していただけるように対応し、外出時の支払いは自分でされる方もいらっしゃる。		買い物時、支払い能力を見て援助している。
61	25	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	(自己評価) 日常的な外出は困難であるが、中庭には自由に出ることができ、散歩をされている。 外出日・買い物は、決まった日になるが、その日の体調や希望を聞き、援助している。 (外部評価) ホーム周辺の散歩は希望に応じて対応している。また中庭が広く四季を楽しむことができる。外出、買い物は希望や体調により計画している。	※	ご近所への散歩はその日の希望に沿って行なっている。
62		○普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	(自己評価) 外出日（買い物）の機会を1ヶ月に1回は予定、実行しているが、行ってみたい場所に外出することは最近では出来ていない。		ドライブ、温泉など市内で利用者さんの希望がある所に出かけられるように支援したい。 家族さんの協力で外出を楽しみにしている方がいらっしゃる。
63		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	(自己評価) 定期的に家族と電話でお話をされている。	※	全員が家族と定期的な交流が取れるように援助している。 手紙のやり取りが最近では出来なくなっているので援助していきたい。
64		○家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	(自己評価) 来客者には、湯茶を出し、ゆっくりとお話していただけるように対応している。	※	長期の入居になってきている方は、家族さんの来所が遠のきぎみになってくるので、定期的に家族会を行い、来ていただけるような機会を作っている。

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(4) 安心と安全を支える支援					
65		○身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	(自己評価) 禁止の対象となる具体的な行為は理解できていないが、身体拘束は行っていない。また、必要でない。		全ての職員が理解できるように、身体拘束について学習し、拘束しないケアについて正しく理解し、今後も身体拘束の無いケアを実践していきたい。
66	26	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	(自己評価) 鍵をかけないケアについて理解し実践している。 日中は、自由に外に出ることが出来る。 (外部評価) 日中は施錠しておらず、自由に出入りできる。職員は利用者の行動を把握しており、必要時には声をかけるなど対応している。	※	職員は、利用者さんの行動に気をつけ、外出や帰宅願望に対し、見守り、声かけを行なっている。必要時、同行、誘導により不安を与えないように対応し、自由に過ごしていただいている。
67		○利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	(自己評価) 日中は3対1の対応で、行動に気をつけ、所在・様子を把握、夜間も所在・様子を定期的に確認、安全に配慮している。		日中、夜間ともに居室で過ごされている方がどなたか、理解し様子を把握、危険を察知し安全に配慮している。
68		○注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	(自己評価) 注意の必要な物については、日常生活の中で、目に触れることの少ない所にて管理している。		問題を起こす恐れのある方のお部屋には、危険な物は置かないようにしている。
69		○事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	(自己評価) 一人ひとりの対応に気をつけ、事故防止に気を付けている。		ヒヤリ・ハットの活用、インシデント報告書により、大きな事故の発生に気を付けているが、定期的に勉強会を行い、事故防止に注意を払い、知識を深めて行きたい。


自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
70		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	(自己評価) 1年に1回救命講習を受け、事故発生時の応急手当を全職員ができるように訓練を受けている。	※	救命講習、各種病気に対する急変時対応、外傷時の応急処置など日頃よりイメージトレーニングを欠かさないように取り組んで行きたい。
71	27	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	(自己評価) 定期的に避難訓練を消防署の指導を受けながら行っている。また、災害時のご近所の協力も受けられるようになった。	※	地震時に対応マニュアル作り 備蓄品の準備が不十分である。 飲料水やトイレの対応など色々なことを人命第一に考えて行きたい。
			(外部評価) 訓練は年2回実施し、検討している。地域の協力体制は整ってきているが訓練の参加までには到っていない。今年は夜間想定訓練をし、マニュアルも作成した。	※	地域の人を巻き込んでの訓練の実現は困難もあると考えられるが、検討を期待する。災害備蓄はホームだけでなく運営法人全体での検討を期待する。
72		○リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にしたい対応策を話し合っている	(自己評価) 家族の来所持や急変時には状況をお知らせしている。また、思いもよらない利用者さんの行動等で転倒、骨折があることを理解していただいている。		拘束や玄関の鍵をかけない、自由な生活をしていただいていることをしていただき、家族さんの理解を得ている。
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
73		○体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	(自己評価) 毎朝、バイタルチェックを行い、体調変化に気をつけるとともに申し送りにて情報を共有し、対応している。必要時は受診または往診をお願いし健康管理に気をつけている。	※	神南診療所との共有情報を大切にしている。職員は日頃より、利用者さんとのコミュニケーションを深め、変化への気づきや観察を養い、体調変化を早期発見を怠らないようにしたい。
74		○服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	(自己評価) 全職員が薬に対し理解していないため、勉強をしていく必要がある。	※	服薬に対する一人ひとりの資料はあるが、副作用等への理解を深め、支援していけるようにしたい。

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
75		○便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	(自己評価) 献立には食物繊維を含んだ食材を摂取できるように工夫している。 水分摂取量、運動、本人の習慣に気をつけ、必要時は薬を飲んでもらっている。	※	排便のチェックに工夫すると便秘予防に役立ち、対応ができるので改善していきたい。
76		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	(自己評価) 自立の方は、声かけ、習慣で歯磨きをしてくださるが、援助の必要な方に対しては、それぞれのレベルに合わせ、歯磨きができるように支援している。	※	1週間に1回義歯洗浄を行なっている。 職員は口腔ケアの必要性を理解して支援している。
77	28	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	(自己評価) 毎回の食事チェック、月1回の体重測定にて栄養バランスのチェック役立てている。 食の細かい方など、バランス良く食事が出来るように声かけ、工夫をしている。 (外部評価) 食事摂取量や水分量を記録し、体重や排泄と共にチェックしている。夏期は特に水分摂取に配慮して支援している。	※	1日の水分摂取量も概ね理解しており、飲み物を変えるなど工夫をし、必要摂取量が取れるようにしている。 摂取カロリー、栄養バランス等は定期的に把握しておくことを期待する。
78		○感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)	(自己評価) 感染症予防マニュアルがある。 予防や早期発見、治療に結びつけている。また、県や市からの感染症、情報に気をつけ、学習会にも参加している。	※	インフルエンザの予防接種を受けている。 調理前後の手洗いに気をつけている。感染症流行時には、特に気をつけ、消毒、手洗いを強化している。
79		○食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	(自己評価) 定期的な冷蔵庫の片付け、残り物の処分、まな板・フキン等の消毒を行い、衛生管理を行っている。 食材も安全に取り扱うように努めている。	※	清潔に新鮮な食材を調理し、食中毒の予防を行なっているが、むしが沢山出て来るので駆除に工夫が必要があり対策を取っている。

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1) 居心地のよい環境づくり					
80		○安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	(自己評価) 玄関には、プランターなどお花を置き、心和む雰囲気を作っている。		建物の外見は、お城のような雰囲気があり、人目を誘う。中庭や植木もあり、明るく小鳥のさえずりもあり、落ち着いている。
81	29	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	(自己評価) 共同スペースは、中庭に面しているため、広がりもあり、花や緑が視野に入ってくる。日差しが強くなるとカーテンを引き、光の調整をしている。 (外部評価) 高台で見晴らしが良い。トイレ、廊下、浴室等は手すりがあり、利用者が動きやすい。車いす移動にも十分な広さがある。季節を感じる草花が生けてあり落ち着いた雰囲気がある。	※	季節が分るように壁飾りに工夫をし、換気や光の量に注意している。
82		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	(自己評価) 畳に腰かけ話をしたり、横になれるスペースがある。ひとりがけの椅子にも自由に座っている。中庭にも、椅子がありゆっくりと過ごせる。		車イスの方も一緒に過ごせるよう工夫している。
83	30	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	(自己評価) 使い慣れた家具を持参されている方は少ないが準備されている家具を工夫し、その人らしく使用し、使われている。 (外部評価) テレビ、椅子、書、写真、絵、人形等利用者それぞれの個性が感じられ、こだわりの品も持ってきている。	※	家具の持ち込みは少ないが、使い慣れた小物や写真、植物など、それぞれの人に合ったお部屋となっている。個性がある。

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
84		○換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のだよみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	(自己評価) 各部屋に換気扇があり、換気に注意している。窓も開け、空気のだよみに注意している。冷やしすぎ、暖めすぎにならないよう室温に注意し、体調にも気をつけている。		夏場は暑くなるので、冷房、ドライを上手に使用し、温度調整を行い、外気温との差に気をつけている。
(2) 本人の力の発揮と安全を支える環境づくり					
85		○身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	(自己評価) 廊下、トイレには手すりがある。室内はバリアフリーで車イスの方と歩行者が十分すれ違うことの出来るスペースがある。		エレベータールームに入るドアの重なりが行動を遮るが、ドアの開放や工夫することで、上の階への行き来に気をつけている。必要時1F職員は援助している。
86		○わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	(自己評価) トイレ、居室を分りやすくしている。		大きく表示している。 居室は名前や写真が貼ってある。
87		○建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている	(自己評価) 中庭は自由に散歩ができる。椅子もいくつか置いてあり、休んだり、日光浴もできる。畑もあり、野菜を作っている。	※	洗濯物干し、水やり、草引きなどのお手伝いをしてくださる。外に出て高台である建物の庭より眺めることは、ストレスの解消にもつながり、ゆったりと過ごすことができる。

(注)

- 1  部分は自己評価と外部評価の共通評価項目。
- 2 全ての自己評価又は外部評価の項目に関し、具体的に記入すること。

V. サービスの成果に関する項目			
項目	取り組みの成果 (該当する箇所を○印で囲むこと)	判断した具体的根拠	
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	1 ほぼ全ての利用者の (自己 ② 利用者の2/3くらいの 評価) 3 利用者の1/3くらいの 4 ほとんど掴んでいない	意思表示ができる方が2/3名いらっしゃるため
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	(自己 ① 毎日ある 評価) 2 数日に1回程度ある 3 たまにある 4 ほとんどない	全員がフロアで過ごされる時間が多い。何かをするわけでもなくも、フロアで一緒にいることが習慣となっている。
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	1 ほぼ全ての利用者が (自己 ② 利用者の2/3くらいが 評価) 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	意思表示のできる方たちは2/3名であるため、自分の意思で行動されていると思っている。
91	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている	(自己 ① ほぼ全ての利用者が 評価) 2 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	自室で過ごすことが好きな方もいらっしゃるが、日中はフロアに集まっていることが多い。しかし、一人ひとりが自由に過ごされている。
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	(自己 1 ほぼ全ての利用者が 評価) 2 利用者の2/3くらいが ③ 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	家族の協力により、度々外出できる方が1/3名である。
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	(自己 ① ほぼ全ての利用者が 評価) 2 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	診療所の看護師さんから健康状態確認の電話があり、1ヶ月に2回医師の往診を受けている。
94	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	(自己 1 ほぼ全ての利用者が 評価) ② 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	帰宅願望、取られ妄想がある方がいらっしゃる。対応はその都度行なっているが、不安を時折感じるため。
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	(自己 ① ほぼ全ての家族と 評価) 2 家族の2/3くらいと 3 家族の1/3くらいと 4 ほとんどできていない	家族の信頼関係が取れている。定期的な電話や外泊援助など家族と相談しながら援助しているため。
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	(自己 1 ほぼ毎日のように 評価) 2 数日に1回程度 ③ たまに 4 ほとんどない	食材の配達の方は毎日来られるが、近所の方はたまに来られるため。

項 目		取 り 組 み の 成 果 (該当する箇所を○印で囲むこと)	判断した具体的根拠
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	1 大いに増えている (自己 ② 少しずつ増えている 評価) 3 あまり増えていない 4 全くいない	2ヶ月に1回運営推進会議を行っており、区長さんや民生委員さんにホームのことを理解していただけるようになってきている。また、地域に向けて毎月新聞を回覧している。
98	職員は、生き活きと働けている	1 ほぼ全ての職員が (自己 ② 職員の2/3くらいが 評価) 3 職員の1/3くらいが 4 ほとんどいない	企画の作成、勉強会などを定期的に行い、向上心を持って業務にあたっている。
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	① ほぼ全ての利用者が (自己 ② 利用者の2/3くらいが 評価) 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	信頼関係が築かれていてサービスに対し、概ね満足して生活しておられると思う。
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	① ほぼ全ての家族等が (自己 ② 家族等の2/3くらいが 評価) 3 家族等の1/3くらいが 4 ほとんどできていない	家族はホームのことを信頼し、頼りにしてくださっていると思う。苦情等が無いため。

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

(自己評価)

- ・フロアでは、利用者さんが全員がリハビリ体操をすることができる。
- ・3フロア合同での買い物や季節行事等のフロア間の交流がある。
- ・地域とつながりを持つと交流に少しずつ力を入れている。
- ・園芸委員、献立委員、レクリエーション担当など職員間の交流と計画性を持って、行事等の企画し、利用者さんだけでなく職員も一緒に楽しみ、生活を援助できるよう各委員会が協力しあい、利用者さんの自立支援に向け工夫に努めている。

(別表第1の2)

自己評価及び外部評価結果表

サービス評価自己評価項目 (評価項目の構成)

I. 理念に基づく運営

1. 理念の共有
2. 地域との支えあい
3. 理念を実践するための制度の理解と活用
4. 理念を実践するための体制
5. 人材の育成と支援

II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援

1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援

III. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント

1. 一人ひとりの把握
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し
3. 多機能性を活かした柔軟な支援
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働

IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

1. その人らしい暮らしの支援
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり

V. サービスの成果に関する項目

ホップ 職員みんなで自己評価!
ステップ 外部評価でブラッシュアップ!!
ジャンプ 評価の公表で取組み内容をPR!!!

ーサービス向上への3ステップー
“愛媛県地域密着型サービス評価”

【記入方法】

- 指定認知症対応型共同生活介護の場合は、共同生活住居(ユニット)ごとに、管理者が介護職員と協議の上記入すること。
 - 各自己評価項目について、「取組みの事実」を記入し、取組みたいに※を付け、適宜その内容を記入すること。
 - 「取組みの事実」は必ず記入すること。
- (注) 自己評価について、誤字脱字等の記載誤り以外、外部評価機関が記載内容等を修正することはありません。

※用語について

- 家族等＝家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含む。
(他に「家族」に限定する項目がある)
- 運営者＝事業所の具体的な経営・運営に関わる決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)。
- 職員＝「職員」には、管理者および非常勤職員を含む。
- チーム＝一人の人の関係者が連携し、共通認識で取り組むという意。
関係者とは管理者・職員はもとより、家族、かかりつけ医、包括支援センターなど、事業所以外で本人を支えている関係者を含む。

事業所名

グループホーム星城

(ユニット名)

2F

記入者(管理者)

氏名

岡田 絹子

評価完了日

平成 19 年 7 月 18 日

(別表第1)

自己評価及び外部評価票

【セル内での改行は「Alt+Enter」です。】

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	(自己評価) 全体的な理念はできており、各階にパネルで貼り付けてある。 (外部評価) 運営法人の理念を受け、年間目標を各ユニット毎に検討し作成している。	※	1日1回は理念を見るように一人ひとりが気をつける。 地域事業に具体的に参加していく。
2	2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	(自己評価) 理念はあるが、実践している事との結びつきがはっきりしない。 (外部評価) 理念、目標は居間に掲げ、いつでも目に入るようにしている。会議や申し送り等で理念の共有をしている。また目標にそって年間計画を立て実践している。	※	各階で実践している事を考えた理念を作って、わかりやすいものにする。
3		○家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえよう取り組んでいる	(自己評価) 地域の回覧板に施設の新聞を入れて頂き活動内容を地域の方に知ってもらっている。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
2. 地域との支えあい					
4		○隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	(自己評価) ご近所の方などに挨拶は出来ている。	※	隣の家に話をしに行くような感じでホームに来て頂き、雰囲気を作っていきたい。
5	3	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	(自己評価) 地域活動に参加している。 (外部評価) 地域とのつながりの必要性は充分理解し取り組んでいるがなかなか結果につなげられない事もあり検討しながら進めている。自治会活動や地域の行事等にも参加し交流に努めている。	※	地域清掃への参加 火災時の協力のおねがい。 ホーム便りの回覧板での回覧、清掃活動への参加、保育園児との交流等を実践している。火災時の対応も地域に組み込む事ができており、今後ますます具体的な方法を検討しながら交流の機会を増やすことを期待する。
6		○事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	(自己評価) 地域の高齢者の為に特別な話し合いなどはしてない。	※	地域にどのような方が住んでおられるか、毎日の生活の中で自然にわかるようにしたい。
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
7	4	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	(自己評価) 外部評価の結果を全体で確認しその後のケアにいかすようにする。 月1回の職員による勉強会の実施 (外部評価) 評価の意義は各職員が理解しており個々に評価し検討している。具体的な評価で改善につなげるものもある。		研修への参加 資格取得をして、意識をかえていく。

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
8	5	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	(自己評価) グループホームとは、どのような所かを知って頂くと同時に事業所も地域の事を知る大切な会なので、お互い理解し合っている (外部評価) ホームの運営報告や会議での提案の実施状態を伝えて理解を求めている。地域の協力を得て防災組織をつくる、案内板の設置、地域の人々のホームへの訪問等を具体的に検討している。	※	利用者の方の為に具体的なサービス向上になるように取り組みたい
9	6	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	(自己評価) 市のサービス担当者会議に出席している (外部評価) サービス担当者会議に出席したり、市担当者と報告・連絡・指導を受けるなどしながら取り組んでいる。	※	職員全員に情報が行き届き、共有できるよう取り組む 連携を大切にしているが、より成果をあげるためにもホームの特徴を理解してもらい、行事や委員会等の出席や参加の機会を持ち具体的な意見交換ができることを期待する。
10		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	(自己評価) 管理者、一部の職員は理解しているが全職員には至っていない	※	勉強会に取り入れたり研修に参加したり制度についての理解を深め全職員が説明できるようにしたい
11		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	(自己評価) 虐待については全職員が注意を払い防止に努めており、研修等で学ぶ機会はあるが理解しているとはいえない	※	研修の内容を具体的に話し合える場を作ったら良い

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 理念を実践するための体制					
12		○契約に関する説明と納得 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	(自己評価) 書面をもってわかりやすく説明し同意を得ている		いろんな場合の対応に同意書がある
13		○運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	(自己評価) 苦情受け付けを設けている 介護相談員の来所などがある		
14	7	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々に合わせた報告をしている	(自己評価) 健康状態に応じ、他の病院受診への相談・報告。お小遣いの現状報告。特変なくても近況報告。職員異動があると月の新聞にコメントなどを載せている (外部評価) 各ユニット毎の新聞で利用者の生活状況、健康状態、金銭管理や職員の異動を含む情報等を詳細に伝えている。また面会時や電話でも細かく情報交換している。家族の生活に応じて具体的な希望に添っている。		
15	8	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	(自己評価) 苦情受け付けを設けている (外部評価) 意見や苦情をホーム内外に表わせる具体的な方法を説明したり表示したりしている。また意見箱を設置している。面会時の家族との情報交換にも配慮している。	※	家族の意見・希望・不満・苦情を聞きより良いサービスが提供できるよう話し合っていく 家族との話し合いは持っているが、家族主体の会議は運営されていない。家族会の設置や家族の意見を引き出す方法を検討し、課題を経過も含めて家族にも伝えることを期待する。

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
16		○運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	(自己評価) ホーム長会議が月1回実施される 業務カンファレンスが月1回実施される		
17		○柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている	(自己評価) 行事等に対応するため時間外の勤務がある		必要に応じ、柔軟な対応が出来る
18	9	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	(自己評価) 馴染みの職員の異動があり、利用者・家族の方が不安感を持たれるのも事実である。が、引き継ぎ等の徹底に心がけ利用者のダメージを防いでいる (外部評価) 運営法人が業務拡張して法人内での異動が多いため、できるだけ職員間の引継ぎを確実にするよう努めている。3ユニットの職員が行事等でできるだけ情報交換し、顔なじみになれるよう工夫している。	※	情報を確実に伝え、理解してもらい利用者が今までと変わらずサービスが受けられるようにしている 利用者それぞれに一貫した対応ができるよう、適切に情報を共有することを期待する。
5. 人材の育成と支援					
19	10	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	(自己評価) 研修への参加 (外部評価) 採用、異動等は職員の背景によって対応している。月1回ユニットでの勉強会は実状に沿ったものを計画し参加している。外部研修への参加は経験に応じたものを受講している。また報告や書類提出もしている。	※	計画的な教育のために、年間計画や経験に応じた研修への参加、参加後の報告等もより充実することを期待する。利用者のケアに関する技術の訓練実施も検討することを期待する。

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
20	11	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	(自己評価) 他のグループホームとの交流 サービス担当者での情報交換		研修者の受け入れ
			(外部評価) 運営法人内の他ホームとは情報交換等で交流できているが、法人外はまだ進んでいない。南予地区グループホーム協議会では少しずつ交流しているが、相互訪問や勉強会開催等は実施していない。	※	勉強会、情報交換会、相互訪問等で交流促進のきっかけとなる働きかけを期待する。運営推進委員会等でも検討することを期待する。
21		○職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる	(自己評価) 時間を決めて、しっかりと休むようにしている		
22		○向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている	(自己評価) 研修への参加		
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
23		○初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	(自己評価) 依頼後、事前調査を行い本人から過去・現在・これからの希望・不安などを聞き、理解するよう努力している		
24		○初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	(自己評価) 事前調査の時に家族の方の思い・意向・不安などを聞き受け止める努力をしている		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
25		○初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	(自己評価) 本人と家族の方が何を求めているか、グループホーム以外は考えられないか、よく話し合っ本人にとって最も良い対応になる様努めている		
26	12	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気に徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	(自己評価) ホームの見学をして頂きどうい所かを本人・家族の方に理解して頂くようにしている (外部評価) 事前に見学してもらったり、ホームから訪問したりして情報収集し、徐々に馴染めるよう家族とも協力している。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
27	13	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	(自己評価) 利用者の今までの経験を尊重し、出来る事はして頂き、また一緒に作業したりして生活の中で信頼関係を築き合っている (外部評価) 利用者の生活歴を大切にして、得意なことなどを知り、職員が教えてもらう場面をつくっている。職員は一緒に過ごし支えあうことを大切にしたいと考えている。	※	
28		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	(自己評価) 家族の方にも面会時、また電話などで近況報告している	※	

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
29		○本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	(自己評価) 本人が家族と会話している時の様子や、本人・家族の話の中で関係性を感じ取るよう努力し、良い関係が築けるよう支援している		
30		○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	(自己評価) 生活歴や、本人・家族との会話の中でこれまでの関係性を知るように努力している		
31		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	(自己評価) 利用者の方数名で散歩や家事の手伝い、レクリエーションを通じて互いに話をする機会を増やしてもらえよう努めている		体調不良で孤立している利用者に対して職員だけでなく利用者との関わり合いを作っていきたい
32		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用（契約）が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	(自己評価) 継続的な関わりを必要とする利用者・家族の方は現在おられない		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
33	14	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	(自己評価) 本人との会話の中により暮らし方の希望・意向の把握・また今までの生活歴を知る事でその人らしい生活になるよう努めている 困難な場合は日頃の言葉・様子から検討している (外部評価) 本人や家族の思いをケアプランに取り入れている。本人の意思が分からないときも本人本位で検討している。	※	家族との十分な話し合い

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
34		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	(自己評価) 一人ひとりの情報をファイルにして、本人を把握できるようにしている		
35		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	(自己評価) 毎日、それぞれ日誌に記入し一日の過ごし方や、状態が把握できるようにしている 心身の変化は、顔色を見たり話し合ったりして気を付けている		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
36	15	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	(自己評価) 月1回職員全員でケアカンファレンスを行い、本人・家族の希望など話し合い計画を立てている また職員同士、利用者が日々の生活の中で変化があった時は、その都度話し合っって計画に反映させている (外部評価) 月1回カンファレンスを行い、本人や家族の希望を介護計画に入れている。担当職員をはじめ全職員の意見を参考にして検討し作成している。		
37	16	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	(自己評価) 3～6ヶ月で見直しをしている 変化に応じて、その都度プラン変更できるようにしている (外部評価) 定期的には3～6か月ごとの見直しとなっているが、毎月カンファレンスで検討し、状況が変わった時は随時見直している。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
38		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	(自己評価) 毎日、介護日誌を記入している 月に1回ケアカンファレンスを行い、ケアプランの見直しをしている。現状にあったプランを作成している		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
39	17	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	(自己評価) 家族の方の同意のもとに職員が受診等の介助を行っている (外部評価) 定期的な医師の往診を受けている。医療機関への受診は家族の協力を得ながら対応している。電話の取り次ぎ、買い物や理美容にも応じている。	※	利用前の付き合いや墓参り、行事、仏事等にも必要に応じて支援することを期待する。
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
40		○地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	(自己評価) 消防署の避難訓練・救命処置などの訓練を受けている	※	介護相談員来所
41		○他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	(自己評価) 必要に応じ話し合っている		本人の意向や家族の希望に応じて、利用できるように支援していきたい
42		○地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	(自己評価) 協働できていない	※	今後協力して、利用者にとって良い介護が出来るようにしていきたい

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
43	18	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	(自己評価) 主治医が月2回往診に来てくれている 緊急時の対応もしてくれるようになっている 本人・家族の方の了解のもと専門医の受診も出来るようにしている ----- (外部評価) 協力医の往診、受診はスムーズにできており、活用している。また協力医療機関の看護師との連携は取れている。		眼科・皮膚科
44		○認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	(自己評価) 必要に応じ専門医の治療を受けている 主治医が認知症に詳しい為、日常の健康管理を行い受診時に必要な報告をし指示を受けている		
45		○看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	(自己評価) 毎日、主治医の診療所から状態確認の電話が入る		
46		○早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	(自己評価) 連携をとっている	※	入院時、施設内の様子などを伝える 退院時、病院内の様子を伝えて頂く 情報交換を充実させたい
47	19	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	(自己評価) 重度化や看とりに対しては、本人・家族の方の意志を尊重し、家族・医師・職員が話し合いをしている ----- (外部評価) ターミナル状態になっても希望があれば対応可能である。2名の看取りを経験しているが、時々話し合いや職員の教育が必要であると考えている。	※	経験を大切にして学んでいくことを期待する。また職員の教育研修を重ね、医療との連携を具体的に検討することを期待する。

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
48		○重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている	(自己評価) 家族にターミナルケアの事を説明し、今後必要になる方については家族・主治医と話し合う 医療機関とスタッフ間で話し合いをしチームケアが出来る	※	家族の付き添いが出来るような環境を作りたい
49		○住み替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている	(自己評価) 事前調査を行う。また、家族の方にホーム見学をしてもらうようにしている 昔からの愛用品、馴染みの物を持ってきてもらう		
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1) 一人ひとりの尊重					
50	20	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	(自己評価) 言葉かけや対応に注意し、その方を尊重した声かけをし、また、個人情報の取り扱いは気を付けている (外部評価) 利用者を尊重し、言葉も態度もきちんと接している。記録類も個人情報として適切に取り扱っている。	※	
51		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている	(自己評価) 本人が選択できる場面を作り、本人が決めてもらうようにしている	※	

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
52	21	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	(自己評価) 業務の枠にはめないように、本人のペースに出来るだけそって支援している (外部評価) 利用者個々のペースと希望を大切にし、職員の都合を優先しない支援が行われている。	※	業務の枠にはめての支援になっている所もあるので利用者中心の流れに出来るようにしたい
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
53		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている	(自己評価) 理容・美容は外部から入ってもらい、希望者に提供してもらっている 家族の協力のもと、通い慣れた美容室などに行けるようにしている		
54	22	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	(自己評価) 一緒に準備や片付けをし、一人ひとりの力を活かしている (外部評価) 食事の準備や片付けを一緒にしており、食事の形態は個々に対応している。メニューの希望を聞くこともある。テーブルが少々狭いため職員は別のスペースを利用しているが、個々の援助はできている。		
55		○本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	(自己評価) 本人の好みに添って、様子を見ながらタバコ・おやつなどを支援している		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
56		○気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	(自己評価) 排泄チェックを付けて、排泄パターンを把握しそれに添って支援するようにしている 誘導・見守りをしている	※	介護者の時間での声かけでなく、本人が行きたい時がしたい時、ということ、そのサインを見極める努力をしていきたい
57	23	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	(自己評価) 本人の希望や体調を見て入浴を提供するようにしている (外部評価) 順番等できるだけ希望に添えるよう努めている。入浴はできるだけゆっくと楽しめるようにしている。また一緒に入浴する方法もあり、個々に対応している。使用後の浴室の掃除や換気にも気をつけている。		
58		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	(自己評価) 寝る時間を一人ひとりのペースに合わせて眠っていただけよう支援している		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
59	24	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	(自己評価) レクリエーション・散歩・家事手伝い・月に数回の買い物等で、気晴らしをしていただけるよう支援している (外部評価) ちぎり絵、習字、詩吟、俳句、塗り絵、新聞読み、テレビ観賞、散歩、園芸、買物、食事準備・片付け、洗濯、たたみ等、利用者の得意なことや好きなことができるよう支援している。	※	利用者に役割を持ってもらうようにしたい

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
60		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	(自己評価) 利用者の方で、自分で金銭管理が出来る方は現在の所おられない		
61	25	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	(自己評価) 希望があれば、散歩などに出かけている (外部評価) ホーム周辺の散歩は希望に応じて対応している。また中庭が広く四季を楽しむことができる。外出、買い物は希望や体調により計画している。		
62		○普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	(自己評価) 月に数回買い物に行ったりしている 家族の協力もあり出来ている		
63		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	(自己評価) 家族とも協力しながら電話介助の支援や手紙の支援をしている		
64		○家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	(自己評価) 訪問時にお茶を出すようにし、ゆっくり過ごしてもらうように配慮している		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(4) 安心と安全を支える支援					
65		○身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	(自己評価) 理解して安全性にも配慮しつつ毎日のケアに取り組んでいる		
66	26	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	(自己評価) やむおえない場合（スタッフの人数が少なく、安全性の保証がない時）を除き鍵をかけないケアに取り組んでいる (外部評価) 日中は施錠しておらず、自由に出入りできる。職員は利用者の行動を把握しており、必要時には声をかけるなど対応している。	※	鍵を開けている時間を増やし、最終的には鍵をかけないホームにしたい
67		○利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	(自己評価) 昼夜、過ごされている場所の把握、見回りの徹底をしている フロアで日誌の記録をするなどして、全体を見れるようにしている		
68		○注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	(自己評価) 注意の必要な物品に関しては安全な保管場所がある危険を防ぐよう工夫している		
69		○事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	(自己評価) 一人ひとりの状態を考え危険性のある方は特に注意し事前の防止に努める 多くの知識を学ぶ為、月に一回勉強会を行っている	※	事故に及んだ時の対応を職員全員が把握できるよう勉強会などで伝えていきたい


自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
70		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	(自己評価) 年に1回救急救命の講習を受けている。		
71	27	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	(自己評価) 年に2回の避難訓練を行っている 地域の方の協力を得て、災害時の緊急連絡網を作成している (外部評価) 訓練は年2回実施し、検討している。地域の協力体制は整ってきているが訓練の参加までには到っていない。今年は夜間想定訓練をし、マニュアルも作成した。	※	地域の人を巻き込んだ訓練の実現は困難もあると考えられるが、検討を期待する。災害備蓄はホームだけでなく運営法人全体での検討を期待する。
72		○リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にしたい対応策を話し合っている	(自己評価) 各入居者の家族の方に起こるリスクの説明をして同意を得ている		同意書を記入してもらっている
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
73		○体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	(自己評価) 毎朝のバイタルチェックや夜間帯からの様子など、情報を共有している		
74		○服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	(自己評価) 薬が変わったら、用法・用量の説明を受診ノートや、申し送りノートに記入して共有している		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
75		○便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	(自己評価) 水分量のチェック・排便チェック等をして予防できるように対応している		薬に頼っている所もある
76		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	(自己評価) 食後一人ひとりに応じた声かけをし口腔ケアをしている(介助)	※	拒否のある方に対する対応をもっと工夫したい
77	28	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	(自己評価) 食事量をチェックして状態を把握している (外部評価) 食事摂取量や水分量を記録し、体重や排泄と共にチェックしている。夏期は特に水分摂取に配慮して支援している。	※	摂取カロリー、栄養バランス等は定期的に把握しておくことを期待する。
78		○感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)	(自己評価) 調理の時に十分注意したり、アルコールで手指の消毒をしている 床などを掃除する時、消毒液などを使用している		
79		○食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	(自己評価) 食材調理の時に十分注意し、調理用具もハイターなどで消毒している		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1) 居心地のよい環境づくり					
80		○安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	(自己評価) 玄関周囲に花などを植えるようにしている		
81	29	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	(自己評価) 間接照明や白熱電球などで暖かい空間作りをしている。花を飾ったりする 季節にあった飾り物（絵など）をしている (外部評価) 高台で見晴らしが良い。トイレ、廊下、浴室等は手すりがあり、利用者が動きやすい。車いす移動にも十分な広さがある。季節を感じる草花が生けてあり落ち着いた雰囲気がある。		
82		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	(自己評価) 畳のスペースを設けたり、テーブルと椅子のスペースを設けている		
83	30	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	(自己評価) 本人の馴染みのある物を持ってきてもらったりして、落ち着いていただける空間作りをしている (外部評価) テレビ、椅子、書、写真、絵、人形等利用者それぞれの個性が感じられ、こだわりの品も持っている。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
84		○換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のだよみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	(自己評価) 室内と室外の温度に注意して、あまり差がないような配慮、換気もまめに行う		
(2) 本人の力の発揮と安全を支える環境づくり					
85		○身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	(自己評価) 手すりを設置し、つたえ歩きが出来るようになっている		
86		○わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	(自己評価) スタッフが利用者の状況に応じて対応している		
87		○建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている	(自己評価) 中庭、ベランダがあり日中過ごせるようになっている		

(注)

- 1  部分は自己評価と外部評価の共通評価項目。
- 2 全ての自己評価又は外部評価の項目に関し、具体的に記入すること。

V. サービスの成果に関する項目			
項 目	取 り 組 み の 成 果 (該当する箇所を○印で囲むこと)	判断した具体的根拠	
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	1 ほぼ全ての利用者の (自己 ② 利用者の2/3くらいの 評価) 3 利用者の1/3くらいの 4 ほとんど掴んでいない	スタッフ間の異動が続き、スタッフが確実に利用者の意向を掴んでいるか疑問がある
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	① 毎日ある (自己 2 数日に1回程度ある 評価) 3 たまにある 4 ほとんどない	
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	1 ほぼ全ての利用者が (自己 ② 利用者の2/3くらいが 評価) 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	基本的には利用者ペースで日々を過ごしてもらおうようにしているが、スタッフの人数が少なかったり、またホームの流れに合わせてもらったりすることがある。この場合は、説明をして同意をもらった上でやっている
91	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている	1 ほぼ全ての利用者が (自己 ② 利用者の2/3くらいが 評価) 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	企画などし、催し物をしている また、家事などの作業をしている
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	1 ほぼ全ての利用者が (自己 ② 利用者の2/3くらいが 評価) 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	家族の協力を得て行きたい所へ出かけている 企画を立て行きたい所へ連れて行こうと努めている
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	1 ほぼ全ての利用者が (自己 ② 利用者の2/3くらいが 評価) 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	利用者から服薬拒否、また数の多さに疑問を持つ方がいる
94	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	1 ほぼ全ての利用者が (自己 ② 利用者の2/3くらいが 評価) 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	柔軟な支援は、行っているが逆に混乱することもある
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	1 ほぼ全ての家族と (自己 ② 家族の2/3くらいと 評価) 3 家族の1/3くらいと 4 ほとんどできていない	非協力的（無関心）な家族の方がいる
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	1 ほぼ毎日のように (自己 2 数日に1回程度 評価) ③ たまに 4 ほとんどない	ボランティアでたまに来られる時がある

項 目		取 り 組 み の 成 果 (該当する箇所を○印で囲むこと)	判断した具体的根拠
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	1 大いに増えている (自己 ② 少しずつ増えている 評価) 3 あまり増えていない 4 全くいない	区長さんを介して回覧板をまわしてもらえるようになったり、災害時の連絡網を作成する事ができた
98	職員は、生き活きと働けている	1 ほぼ全ての職員が (自己 2 職員の2/3くらいが 評価) ③ 職員の1/3くらいが 4 ほとんどいない	日々の業務におわれていて、ゆとりがない
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	1 ほぼ全ての利用者が (自己 ② 利用者の2/3くらいが 評価) 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	スタッフ不足により利用者のしたい時にしたい事(例えば散歩など)をさせてあげられない事がある
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	1 ほぼ全ての家族等が (自己 ② 家族等の2/3くらいが 評価) 3 家族等の1/3くらいが 4 ほとんどできていない	食事の時、温かい物を温かい時に食べてもらえなかったりしている 入浴を出来るだけ毎日と思っている家族の方に対して、させてあげられなかったりしている

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

(自己評価)

お一人お一人が出来る事は出来るだけして頂けるようスタッフが見守っている

(別表第1の2)

自己評価及び外部評価結果表

サービス評価自己評価項目 (評価項目の構成)

I. 理念に基づく運営

1. 理念の共有
2. 地域との支えあい
3. 理念を実践するための制度の理解と活用
4. 理念を実践するための体制
5. 人材の育成と支援

II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援

1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援

III. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント

1. 一人ひとりの把握
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し
3. 多機能性を活かした柔軟な支援
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働

IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

1. その人らしい暮らしの支援
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり

V. サービスの成果に関する項目

ホップ 職員みんなで自己評価!
ステップ 外部評価でブラッシュアップ!!
ジャンプ 評価の公表で取組み内容をPR!!!

ーサービス向上への3ステップー
“愛媛県地域密着型サービス評価”

【記入方法】

- 指定認知症対応型共同生活介護の場合は、共同生活住居(ユニット)ごとに、管理者が介護職員と協議の上記入すること。
 - 各自己評価項目について、「取組みの事実」を記入し、取組みたいに※を付け、適宜その内容を記入すること。
 - 「取組みの事実」は必ず記入すること。
- (注) 自己評価について、誤字脱字等の記載誤り以外、外部評価機関が記載内容等を修正することはありません。

※用語について

- 家族等＝家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含む。
(他に「家族」に限定する項目がある)
- 運営者＝事業所の具体的な経営・運営に関わる決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)。
- 職員＝「職員」には、管理者および非常勤職員を含む。
- チーム＝一人の人の関係者が連携し、共通認識で取り組むという意。
関係者とは管理者・職員はもとより、家族、かかりつけ医、包括支援センターなど、事業所以外で本人を支えている関係者を含む。

事業所名 グループホーム 星城

(ユニット名) 3F

記入者(管理者)
氏名 徳生 ナナコ

評価完了日 平成 19 年 7 月 12 日

(別表第1)

自己評価及び外部評価票

【セル内での改行は「Alt+Enter」です。】

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	(自己評価) ○地域、家族との交流を図る。 ○ボランティアの受け入れ、ギターの弾き語りや大正琴等交流を図っている。 ○地区の秋祭りや地域の夏祭りに参加している。 (外部評価) 運営法人の理念を受け、年間目標を各ユニット毎に検討し作成している。	※	○散歩時に近隣の方と会話を持てるようサポートし顔なじみになれるよう支援していく。
2	2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	(自己評価) ○いつでも見える所に理念を掲示しており、1人1人が日々取り組んでいる。 (外部評価) 理念、目標は居間に掲げ、いつでも目に入るようにしている。会議や申し送り等で理念の共有をしている。また目標にそって年間計画を立て実践している。	※	○全員が理念を共有して日々取り組んでいきたい。
3		○家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえよう取り組んでいる	(自己評価) ○家族会(年1回)や運営推進会議(2ヶ月に1回)を通し取り組んでいる。	※	○もっと理解を深めて頂けるよう取り組んでいきたい。

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
2. 地域との支えあい					
4		○隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	(自己評価) ○通勤時、散歩時の挨拶は気を付けている。 ○地区の行事に参加したり、また年末にはホームでついた餅を配ったりして気軽な付き合いが出来るよう努めている。	※	○常に挨拶は基本とし、こちらから話題を提供し親しくなれるよう努める。
5	3	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	(自己評価) ○回覧板にホームの新聞を入れてもらい地域の一員であることを認識して頂き、地区の行事等参加している。 (外部評価) 地域とのつながりの必要性は充分理解し取り組んでいるがなかなか結果につなげられない事もあり検討しながら進めている。自治会活動や地域の行事等にも参加し交流に努めている。	※	○地区の方との交流がもっと図れるよう行事や活動に参加していきたい。 ホーム便りの回覧板での回覧、清掃活動への参加、保育園児との交流等を実践している。火災時の対応も地域に組み込む事ができており、今後ますます具体的な方法を検討しながら交流の機会を増やすことを期待する。
6		○事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	(自己評価) ○運営推進会議を通して取り組んでいるが、地域の高齢者への貢献にまではいたっていない。	※	○地域の高齢者に役立てるようホームなりの貢献の仕方について考え取り組んでいきたい。
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
7	4	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	(自己評価) ○要改善の項目に対し前向きに取り組んでいる。 (外部評価) 評価の意義は各職員が理解しており個々に評価し検討している。具体的な評価で改善につなげるものもある。	※	○1人1人が理解し改善に向けて努力し、より良いケアが提供できるよう取り組んでいきたい。

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
8	5	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	(自己評価) ○災害時の応援依頼の連絡網の作成 ○今後の地域との関わり方を話し、地域の一員としてその人らしく生きていけるようなサービスを目指している。 (外部評価) ホームの運営報告や会議での提案の実施状態を伝えて理解を求めている。地域の協力を得て防災組織をつくる、案内板の設置、地域の人々のホームへの訪問等を具体的に検討している。	※	○運営推進会議もマンネリ化してきているので、サービス向上につながるよう取り組み地域とのつながりを大切にしていきたい。
9	6	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	(自己評価) ○運営推進会議や介護相談員の来所以外には市が行っているサービス担当者会に出席しているくらいである。行事等に招待するがまだ参加はない。 (外部評価) サービス担当者会議に出席したり、市担当者と報告・連絡・指導を受けるなどしながら取り組んでいる。	※	○ホームの行事等にも参加して頂き率直な意見を聞かせてもらいたい。 連携を大切にしているが、より成果をあげるためにもホームの特徴を理解してもらい、行事や委員会等の出席や参加の機会を持ち具体的な意見交換ができることを期待する。
10		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	(自己評価) ○一部の職員のみ研修等で学ぶ機会があったが全員が理解するまでには到っていない。	※	○全スタッフが理解し活用出来るように勉強会をしたい。
11		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	(自己評価) ○研修等で学び防止に努めている。	※	○高齢者虐待防止関連法について勉強会をしたい。 ○全スタッフがより一層防止に努めていきたい。

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 理念を実践するための体制					
12		○契約に関する説明と納得 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	(自己評価) ○不安や疑問点等、十分に聞き納得を得られるようにしている。		
13		○運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	(自己評価) ○運営推進会議に利用者が参加し、発言の場を設けており、また介護相談員が来所したり、普段より意見が言いやすい雰囲気作りに努めている。	※	○より一層信頼関係を築き、言いやすい環境作りに努めたい。
14	7	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々に合わせた報告をしている	(自己評価) ○面会時やホームの新聞で行っている。 ○体調についてはすぐ報告できる体制をとっている。 (外部評価) 各ユニット毎の新聞で利用者の生活状況、健康状態、金銭管理や職員の異動を含む情報等を詳細に伝えている。また面会時や電話でも細かく情報交換している。家族の生活に応じて具体的な希望に添っている。		
15	8	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	(自己評価) ○意見の言いやすい雰囲気作りに努めている。 ○意見箱を設けている。 (外部評価) 意見や苦情をホーム内外に表わせる具体的な方法を説明したり表示したりしている。また意見箱を設置している。面会時の家族との情報交換にも配慮している。	※ ※	○なかなか意見を直接聞く事がないので、もっと引き出せるよう努力し反映させていきたい。 家族との話し合いは持っているが、家族主体の会議は運営されていない。家族会の設置や家族の意見を引き出す方法を検討し、課題を経過も含めて家族にも伝えることを期待する。

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
16		○運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	(自己評価) ○業務カンファレンスを全体で行っている。	※	○意見や提案を出し反映させていきたい。
17		○柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている	(自己評価) ○行事等企画には時間外勤務者が出勤している。 ○緊急時等、連絡網にて出勤している。		
18	9	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	(自己評価) ○利用者へのダメージが最小限になるようむやみに異動、退職等利用者に知らせないようにしているが引き継ぎは十分に行っている。	※	○グループ(会社)が拡大している為、異動は防げないがなるべくなじみの関係でいられるよう配慮している。
			(外部評価) 運営法人が業務拡張して法人内での異動が多いため、できるだけ職員間の引継ぎを確実にするよう努めている。3ユニットの職員が行事等でできるだけ情報交換し、顔なじみになれるよう工夫している。	※	利用者それぞれに一貫した対応ができるよう、適切に情報を共有することを期待する。
5. 人材の育成と支援					
19	10	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	(自己評価) ○段階に応じた研修が受けられるようにしている。 ○ホーム内で勉強会を行っている。		
			(外部評価) 採用、異動等は職員の背景によって対応している。月1回ユニットでの勉強会は実状に沿ったものを計画し参加している。外部研修への参加は経験に応じたものを受講している。また報告や書類提出もしている。	※	計画的な教育のために、年間計画や経験に応じた研修への参加、参加後の報告等もより充実することを期待する。利用者のケアに関する技術の訓練実施も検討することを期待する。

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
20	11	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	(自己評価) ○市が行っているサービス担当者やグループホーム協議会の研修を通して交流を持っているがネットワーク作りが不十分である。	※	○自社系列外の他ホームとも交流を図っていききたい。また、他ホームとの合同の勉強会や意見交換会を行いたい。
			(外部評価) 運営法人内の他ホームとは情報交換等で交流できているが、法人外はまだ進んでいない。南予地区グループホーム協議会では少しずつ交流しているが、相互訪問や勉強会開催等は実施していない。	※	勉強会、情報交換会、相互訪問等で交流促進のきっかけとなる働きかけを期待する。運営推進委員会等でも検討することを期待する。
21		○職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる	(自己評価) ○忘年会等行われているが1人1人のストレス軽減に向けた取り組みはなされていない。 ○上席者が悩みを聞くようにしている。	※	○専門員などによるカウンセリングが受けられるような取り組みを期待したい。
22		○向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている	(自己評価) ○有資格者には手当てをつけ、資格取得といった向上心を持てるよう取り組んでいる。		
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
23		○初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	(自己評価) ○事前調査を行い、本人の思いを理解するようにしている。		
24		○初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	(自己評価) ○事前調査を行い、家族の思いを理解するようにしている。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
25		○初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	(自己評価) ○その人に合った支援やサービスが受けられるように対応している。		
26	12	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気に徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	(自己評価) ○事前に見学に来てもらったり、こちらから面会に行き入所時には顔見知りのスタッフが居るようにし、他利用者とも徐々に馴染めるような雰囲気作りに全スタッフが工夫している。 (外部評価) 事前に見学してもらったり、ホームから訪問したりして情報収集し、徐々に馴染めるよう家族とも協力している。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
27	13	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	(自己評価) ○会話を中心に喜怒哀楽を共にし軽作業を一緒に行うことによって支えあう関係に努めている。 (外部評価) 利用者の生活歴を大切にして、得意なことなどを知り、職員が教えてもらう場面をつくっている。職員は一緒に過ごし支えあうことを大切にしたいと考えている。	※	○利用者さんが学ぶ機会をもっと増やしていきたい。
28		○本人と共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	(自己評価) ○面会時に話をしたり、相談しながらケアに努めている。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
29		○本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	(自己評価) ○年末年始や盆の外出、外泊をアプローチして本人が家族と十分なコミュニケーションがとれるように支援している。		
30		○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	(自己評価) ○これまで参加していた老人会への出席や馴染みの美容室の利用等、家族の協力を得て支援している。また、墓参り等本人が大切にしてきた場所に行けるよう家族にもアプローチしている。		
31		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	(自己評価) ○トラブルにならないような環境作りをしている。 ○レクレーションを通して関係が良好であるよう努めている。	※	○お互いが支え合えるような場の工夫をしていきたい。
32		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用（契約）が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	(自己評価) ○入院時の情報提供を行っている。 ○お見舞いに行くようにしている。		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
33	14	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	(自己評価) ○アセスメントにより本人の思いを把握するようにし、常に本人本位に考えている。 (外部評価) 本人や家族の思いをケアプランに取り入れている。本人の意思が分からないときも本人本位で検討している。	※	○なるべく本人の思いに近づけるよう理解していきたい。

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
34		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	(自己評価) ○事前調査時や面会時に家族に聞く。 ○聞きづらいこともあるが少しずつアセスメントを行い把握している。	※	○家族や面会者から情報が得られるよう上手にアセスメントしていきたい。
35		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	(自己評価) ○全スタッフが把握できるよう申し送りを行っている。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
36	15	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	(自己評価) ○月1回のケアカンファレンスにより行っている。 (外部評価) 月1回カンファレンスを行い、本人や家族の希望を介護計画に入れている。担当職員をはじめ全職員の意見を参考にして検討し作成している。		
37	16	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	(自己評価) ○期間に応じて見直しようにしている。また、変化が生じた場合はすみやかに見直しようにしている。 (外部評価) 定期的には3～6か月ごとの見直しとなっているが、毎月カンファレンスで検討し、状況が変わった時は随時見直ししている。	※	○期間がきれても見直しができている時があるので早めに対応していきたい。

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
38		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	(自己評価) ○個別に行っている。 ○申し送りを徹底し、情報が共有できるようにしている。	※	○ケアの実践だけでなく、気づきの部分を大切にしていきたい。 ○日々のスタッフの気づきを記入できるものを作りたい。
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
39	17	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	(自己評価) ○体調に合わせた支援（受診） ○家族への電話の取り次ぎを行っている。 (外部評価) 定期的な医師の往診を受けている。医療機関への受診は家族の協力を得ながら対応している。電話の取り次ぎ、買い物や理美容にも応じている。	※	利用前の付き合いや墓参り、行事、仏事等にも必要に応じて支援することを期待する。
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
40		○地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	(自己評価) ○2ヶ月に1回の介護相談員の来所 ○年2回の避難訓練 ○園児とのふれあい ○ボランティアの受け入れ	※	○ボランティアをどんどん受け入れ、地元の小学校、中学校とも交流をはかりたい。
41		○他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	(自己評価) ○本人の希望で理美容サービスを受ける事が出来る。		
42		○地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	(自己評価) ○協働していない。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
43	18	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	(自己評価) ○かかりつけ医がおり、往診可能である。 (外部評価) 協力医の往診、受診はスムーズにできており、活用している。また協力医療機関の看護師との連携は取れている。		
44		○認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	(自己評価) ○専門医がおり支援している。	※	○主治医、専門医との勉強会を行っていききたい。
45		○看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	(自己評価) ○相談出来る体制になっている。		
46		○早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	(自己評価) ○系列に診療所がある為、連携できている。		
47	19	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	(自己評価) ○スタッフ全員が共有出来るようにしている。 (ターミナルケアを経験) (外部評価) ターミナル状態になっても希望があれば対応可能である。2名の看取りを経験しているが、時々話し合いや職員の教育が必要であると考えている。	※	経験を大切にして学んでいくことを期待する。また職員の教育研修を重ね、医療との連携を具体的に検討することを期待する。

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
48		○重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている	(自己評価) ○その人らしさを大切に取り組んでいる。		
49		○住み替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている	(自己評価) ○情報交換を十分に行っている。		
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1) 一人ひとりの尊重					
50	20	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	(自己評価) ○その人のプライドを尊重したケアを心がけている。 ○個人情報の取り扱いには十分注意している。 (外部評価) 利用者を尊重し、言葉も態度もきちんと接している。 記録類も個人情報として適切に取り扱っている。	※	○その人らしさを追求したケアを実践していきたい。
51		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている	(自己評価) ○自己決定できる場面を日々作り、納得した暮らしが出来よう取り組んでいるが、いつでも利用者が納得できる状況ではない。	※	○思いや希望をもっと引き出せるようなケアに努めたい。

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
52	21	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	(自己評価) ○こちらの都合を優先してしまいがちであるが、その人の体調や性格等ペースに合ったケアに取り組んでいる。 (外部評価) 利用者個々のペースと希望を大切にし、職員の都合を優先しない支援が行われている。	※	○大きいスパンでとらえ、いつも休んでいたい人には寝たきりや閉じこもりにならない様に気を配りながら、自由に過ごせる時間を作ってあげたい。
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
53		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている	(自己評価) ○なるべく本人の希望する店に行けるよう家族協力のもと、支援している。 ○以前のその人らしい身だしなみになるよう、現在は自力で難しくなっている方に支援している。	※	○おしゃれをして出かける喜びを取り戻せるような企画を行いたい。
54	22	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	(自己評価) ○一部の利用者ではあるが、準備や片付けを一緒に行っている。 ○献立に好みや希望が反映されるよう努めている。(月1回献立委員会を行っている) (外部評価) 食事の準備や片付けを一緒にしており、食事の形態は個々に対応している。メニューの希望を聞くこともある。テーブルが少々狭いため職員は別のスペースを利用しているが、個々の援助はできている。	※	○いつも同じ人になりがちなので、拒否のない方にはどんどん参加してもらえるよう取り組みたい。 ○台所仕事をもう少し手伝ってもらえるようにしたい。
55		○本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	(自己評価) ○毎日ではないが晩酌出来るようにしている。(他者の配慮も行っている) ○移動パン屋さんにて好みのパンを購入できるような企画を行っている。 ○本人が買い物で購入した好物をおやつに出している	※	○その人の好みを十分に理解し、対応出来るようにしていきたい。

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
56		○気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	(自己評価) ○トイレ不足の為、失敗が多かった方にはP-トイレ設置で軽減した。 ○トイレ混雑時には誘導している。	※	○トイレ不足の為、混み合ってしまうので早めはその人に合った声かけで失敗を減らせるよう支援していきたい。
57	23	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	(自己評価) ○その人の希望やタイミングに合わせているが、どうしても順番待ちさせてしまうことがある。 ○入浴出来ない時は足浴を行っている。 (外部評価) 順番等できるだけ希望に添えるよう努めている。入浴はできるだけゆっくと楽しめるようにしている。また一緒に入浴する方法もあり、個々に対応している。使用後の浴室の掃除や換気にも気をつけている。	※	○なるべく希望にそった入浴になるよう支援していきたい。
58		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	(自己評価) ○昼寝がしたい方、早く寝たい方、TVを見てから休みたい方、その人に合った支援を行っている。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
59	24	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	(自己評価) ○趣味や好きな事が出来る環境作りに努めている。 (外部評価) ちぎり絵、習字、詩吟、俳句、塗り絵、新聞読み、テレビ観賞、散歩、園芸、買物、食事準備・片付け、洗濯、たたみ等、利用者の得意なことや好きなことができるよう支援している。	※	○1人1人の生活歴をもっと理解し、1人1人が楽しく暮らせるよう支援していきたい。

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
60		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に 応じて、お金を所持したり使えるように支 援している	(自己評価) ○希望される方には家族了解のもと、所持されてい る。 ○買い物時は自分で支払われる方もい る。		
61	25	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひと りのその日の希望にそって、戸外に出かけ られるよう支援している	(自己評価) ○散歩や買い物等支援している。 ○他の階の知人を訪ねる等支援している。 (外部評価) ホーム周辺の散歩は希望に応じて対応している。また 中庭が広く四季を楽しむことができる。外出、買い物 は希望や体調により計画している。	※	○拒否が多くなってきている為、散歩に行く習慣 をつけて戸外へ出る機会を増やして行きたい。
62		○普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けな いところに、個別あるいは他の利用者や家 族とともに出かけられる機会をつくり、支 援している	(自己評価) ○個別に行っていないが家族の協力で外出されている。 ○お花見等企画している。 ○毎年、かまぼこ板の絵展覧会には作品を出品して、 全員でかけている。	※	○誕生日等に本人の行きたい場所に行くなど個別 のケアを行って行きたい。
63		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をし たり、手紙のやり取りができるように支援を している	(自己評価) ○年賀状を書いたり、手紙（ハガキ）を出したり、希 望時に電話を取りついたりしている。プライバシーに は十分配慮している。	※	○手紙等は希望を優先していると遠くなりがちな ので上手に声かけし、時々は出せるように支援し て行きたい。
64		○家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人 たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地 よく過ごせるよう工夫している	(自己評価) ○家族以外の友人知人等、訪問していただいている。 ○居心地よく頻回に来ていただけるような環境作りを 心がけている。	※	居室以外にも面会者とゆっくり過ごせる場所を提 供したいが、狭い為難しいが配慮して行きたい。

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(4) 安心と安全を支える支援					
65		○身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	(自己評価) ○身体拘束の行為全ては理解出来ていない。 ○身体拘束のないケアに取り組んでいる。	※	より一層理解を深める為、勉強会を行っていききたい。
66	26	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	(自己評価) ○全員が理解しており取り組んでいる。 (外部評価) 日中は施錠しておらず、自由に入出りできる。職員は利用者の行動を把握しており、必要時には声をかけるなど対応している。		
67		○利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	(自己評価) ○身体状況は毎日確認し所在には十分注意している。		
68		○注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	(自己評価) ○その人の状態に応じて取り組んでいる。		
69		○事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	(自己評価) ○その人に応じた対応を全員が理解している。	※	○より知識を深める為、勉強会を行いたい。 ○ヒヤリハットの活用をしていきたい。


自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
70		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	(自己評価) ○年1回救命講習を行っている。	※	○具体的な応急手当の指導を受けたい。
71	27	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	(自己評価) ○年2回防火訓練を実地 ○地域の方の連絡網を作成している。 (外部評価) 訓練は年2回実施し、検討している。地域の協力体制は整ってきているが訓練の参加までには到っていない。今年は夜間想定訓練をし、マニュアルも作成した。	※	○地震時のマニュアル作成 地域の人を巻き込んでの訓練の実現は困難もあると考えられるが、検討を期待する。災害備蓄はホームだけでなく運営法人全体での検討を期待する。
72		○リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にしたい対応策を話し合っている	(自己評価) ○協力が得られるようにしている。 ○ホーム主催の家族会にて説明し理解を得られるよう取り組んでいる。	※	○機会を増やしていきたい。
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
73		○体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	(自己評価) ○毎日バイタルチェックを行い、状態の観察を行っている。○発見した場合の対応も徹底している。		
74		○服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	(自己評価) ○すぐに確認出来るようファイルしている。 ○スタッフ全員が全てを理解しているわけではない。	※	○スタッフ全員が1人1人の薬を理解出来るよう努めていきたい。

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
75		○便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	(自己評価) ○理解できていないスタッフもいる。 ○予防と対応に取り組んでいる。	※	さらに理解を深める為に勉強会を行っていききたい。
76		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	(自己評価) ○毎食後、歯みがきの声かけを行っている。 ○週1回のポリデント実地（全員ではない） ○拒否の強い方への支援不足	※	○拒否の強い方の口腔ケアをどうしたらよいか検討中である。
77	28	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	(自己評価) ○不足しがちな人に関しては水分チェックを行い、1日トータルで十分な水分が摂取できるよう声かけしたり、摂取しやすい物で対応している。 ○食事チェックは全員行っている。 (外部評価) 食事摂取量や水分量を記録し、体重や排泄と共にチェックしている。夏期は特に水分摂取に配慮して支援している。	※	○食事量の少ない方の栄養補給に高カロリー飲料を使っているが、なるべく食事で摂れるよう考えていきたい。 摂取カロリー、栄養バランス等は定期的に把握しておくことを期待する。
78		○感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している（インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等）	(自己評価) ○マニュアルの作成、勉強会を行っている。 ○手すり、トイレ等は毎日除菌している。	※	○疥癬、肺炎、MRSAについて医学的な勉強会を行い、予防についてスタッフ全員が取り組めるようにしていきたい。
79		○食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	(自己評価) ○調理用具等の除菌や台所の掃除をまめに行い、常に衛生的にあるよう努め、食品の管理にも気をつけている。	※	○台所の清潔は常に心がけているが、これからもスタッフ全員が気をつけていきたい。

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1) 居心地のよい環境づくり					
80		○安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	(自己評価) ○玄関まわりは花を置き、ドアはオープンにし、出入りがしやすい雰囲気を作っている。 ○草引きや剪定を行っている。 ○3Fの為、入口付近は殺風景ではあるが明るい挨拶を心がけている。	※	○日頃より明るく親しみやすい雰囲気作りに努め、気軽に入出入りして頂けるようにしていきたい。
81	29	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	(自己評価) ○フロアの窓が西側の為、午後からはカーテンをする等対応している。 ○壁面等、季節感もてるよう毎月変えており、テーブルには季節の花を生けるようにしている。 (外部評価) 高台で見晴らしが良い。トイレ、廊下、浴室等は手すりがあり、利用者が動きやすい。車いす移動にも十分な広さがある。季節を感じる草花が生けてあり落ち着いた雰囲気がある。	※	○もう少し生活感のある居心地のよい空間作りをしていきたい。
82		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	(自己評価) ○共用スペースの中で独りになれる所は難しい。 ○畳の所に冬はコタツを置き、雑談できる場を作っている。	※	○思い思いに過ごせる居心地の良い環境を作っていきたい。
83	30	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	(自己評価) ○使い慣れた物を持って来てもらい、今までの生活に少しでも近い状態で暮らせるように取り組んでいる。 (外部評価) テレビ、椅子、書、写真、絵、人形等利用者それぞれの個性が感じられ、こだわりの品も持ってきている。	※	○泊まれる部屋はないのでターミナルになった時、家族が気軽に宿泊できるように検討していきたい。

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
84		○換気・空調の配慮 気になるにおいや空気よどみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	(自己評価) ○換気は日頃から気を配っている。 ○温度調節も利用者に合わせて、こまめに調節している。		
(2) 本人の力の発揮と安全を支える環境づくり					
85		○身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	(自己評価) ○廊下やトイレ等に手すりがあり、自立歩行がしやすいバリアフリーな環境である。	※	○トイレの便座、椅子が高い。個々に合わせて調節出来ないか検討していきたい。
86		○わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	(自己評価) ○見やすく分かりやすい日めくりの手作りカレンダーを設置している。 ○自室前には大きな字で名前がついている。	※	○分かる力を引き出せる環境作りをしていきたい。
87		○建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている	(自己評価) ○ベランダではプランターで花やイチゴ等を育てて、草引きや水やりを行っている。 ○駐車場横に畑があり、そちらでも活動している。	※	○近くに借りている畑は立地条件的に歩ける元気な方でも難しいが活用していきたい。

(注)

- 1  部分は自己評価と外部評価の共通評価項目。
- 2 全ての自己評価又は外部評価の項目に関し、具体的に記入すること。

V. サービスの成果に関する項目			
項 目	取 り 組 み の 成 果 (該当する箇所を○印で囲むこと)	判断した具体的根拠	
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	1 ほぼ全ての利用者の (自己 ② 利用者の2/3くらいの 評価) 3 利用者の1/3くらいの 4 ほとんど掴んでいない	1人1人の思いを完全に理解しているとは言えない。
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	① 毎日ある (自己 2 数日に1回程度ある 評価) 3 たまにある 4 ほとんどない	雑談する時間を大切にしている。
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	1 ほぼ全ての利用者が (自己 ② 利用者の2/3くらいが 評価) 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	こちらの都合を優先してしまう事がある。
91	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている	1 ほぼ全ての利用者が (自己 ② 利用者の2/3くらいが 評価) 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	全員が生き生きとした表情になるか…疑問である。
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	1 ほぼ全ての利用者が (自己 2 利用者の2/3くらいが 評価) ③ 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	なかなか行きたい所へは出かけられない。
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	① ほぼ全ての利用者が (自己 2 利用者の2/3くらいが 評価) 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	24時間体制で主治医が往診可能
94	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	1 ほぼ全ての利用者が (自己 ② 利用者の2/3くらいが 評価) 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	おおむね出来ているが対応（支援）が裏目に出る事もある。
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	1 ほぼ全ての家族と (自己 ② 家族の2/3くらいと 評価) 3 家族の1/3くらいと 4 ほとんどできていない	聴くようにしているが積極的に言って頂くことは少ない。信頼関係も築けているが全家族とは言えない。
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	1 ほぼ毎日のように (自己 2 数日に1回程度 評価) ③ たまに 4 ほとんどない	友人、知人等一部の方のみ訪問がたまにある。ボランティアの方がたまにこられる。

項 目		取 り 組 み の 成 果 (該当する箇所を○印で囲むこと)	判断した具体的根拠
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	1 大いに増えている (自己 ② 少しずつ増えている 評価) 3 あまり増えていない 4 全くいない	理解者は増えてきていると思うが応援者の増加をあまり感じない。
98	職員は、生き活きと働けている	① ほぼ全ての職員が (自己 2 職員の2/3くらいが 評価) 3 職員の1/3くらいが 4 ほとんどいない	明るく元気に仕事ができている。
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	1 ほぼ全ての利用者が (自己 ② 利用者の2/3くらいが 評価) 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	不満に思っている方もいるのでは…
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	1 ほぼ全ての家族等が (自己 ② 家族等の2/3くらいが 評価) 3 家族等の1/3くらいが 4 ほとんどできていない	満足されていない方もいるのでは…

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

(自己評価)

- 利用者1人1人が毎日楽しく過ごせるような支援
- その人らしさを生かした個別ケア
- 自立支援（自分で出来ることは自分でする）
-